

1 年 を 振 り 返 っ て

東京に帰る度にいつも気付くことがある。それは日頃、自分が海や山が近くにあることを、当たり前だと思っ
ていると言うことだ。また、鹿島に帰ると聞こえる犬の鳴き声と里親さんの「お帰れ」の声。当たり前だが、東京に帰れば聞くことはできない。そんな時、僕は里親さんとの距離を強く感じてしまう。実家に帰る度に、そんなことが僕の胸をよぎった。

2年目の留学が終わろうとしている。近いようで遠い鹿島での生活は一生忘れられない思い出となった。

自分がここまで成長できたのは、地域の方と中学生の自覚を身に付けさせてくれた先生方のおかげだと思
う。そして、困った時迷った時にアドバイスをしてく
れた里親さん。お互いに助け合い、協力し合った友達。
遠くからでも自分を支えてくれた家族。自分は周りの人
たちに見守られながら生きていくんだと強く実感した。

今ここを去ろうとしている自分にとって、これまで
すべてが大切な宝物となった。

里親さん、学校の先生、地域のみなさん素晴らしい
体験をありがとうございました。♪